

講義名	研究演習（経）		
講義コード	12202	授業形態	
担当教員	中島 孝子	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限
		キャンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
経済学部経済学科・経済情報学科	医療経済学

概要説明

【テーマの概要】
日本の「国民医療費」は48兆915億円、対GDP比は8.08%（2023年度）に達し、膨らみ続ける財政負担は喫緊の課題となっています。医療の恩恵をより多く受けるのは高齢者となります。しかし、医療費の増加要因としては、高齢者医療費だけでなく、医療技術の進歩も大きいことが指摘されています。一方で、現場では医療従事者の不足や過剰な労働環境の深刻化が続いており、政府による医療制度改革は、供給者（医師・病院）と需要者（患者）の双方から批判を受けることも少なくありません。
「全員が納得できる医療制度」は、実現可能なのでしょうか。ゼミでは、こうした問いを出発点として、医療をめぐる複雑な現実を経済学の視点から読み解くことを目的としています。そのような学びが持つ意義は、医療制度という社会の根幹に関わる問題を主体的に捉え、客観的な根拠に基づいて社会課題に向き合う力を養うことにあります。このような力は、流通科学大学のディプロマポリシーの「必要な情報を収集・分析し、課題を発見して解決策を構想する力」や、「豊かな社会の実現に貢献できるビジネスパーソン」となることに直結します。

医療経済学では、コストの問題だけでなく、以下のような医療特有の複雑なメカニズムを分析対象とします。
・情報の非対称性：専門知識を持つ医師と、それを持たない患者の間のギャップ。
・不確実性：いつ、どのような病気になるか予測できないリスクなどへの対応。
・エージェント関係：患者に代わって意思決定を行う医師の役割とインセンティブ
ゼミでは、経済学のフレームワークを用いて医療現場の諸問題を構造的に理解し、客観的なデータや理論に基づいて解決策を提示する力を養います。

【活動内容】
（1）研究演習（2年後期）：インプットと基礎固め
医療経済学の「基本」を学ぶ。基本的な文献の輪読・発表を通じて、専門用語や特有の考え方に慣れることを目標とする。また、自身の素朴な疑問を学術的な「問い」に発展させる準備期間とする。
実施すること：
・ 輪読と発表
・ 疑問を考える
（文献例）
横山直人・佐々木司「安全な医療のための「働き方改革」」岩波書店 2019年
康永秀生「経済学を知らずに医療ができるか？医療従事者のための医療経済学入門」金芳堂 2020年
中西康裕・今村知明「中堅どころが知っておきたい医療現場のお金の話」MCメディア出版 2019年
大竹文雄・平井啓「医療現場の行動経済学」東洋経済新報社 2018年
河口洋行「医療の経済学（第3版）」日本評論社 2015年
小堀隆士「社会保障の経済学（第4版）」日本評論社 2013年 など
（2）研究演習（3年）：リサーチとアウトプット
各自が関心を持つ特定のテーマ（例：混合診療の是非、遠隔医療の普及、薬価制度、高額療養費制度など）を掘り下げる。また、レポートの作成を通じて、自分の意見をエビデンスに基づいて発信する力を身につける。
実施すること
・ 関連文献やデータの収集
・ 論理的な文章表現のトレーニング
・ プレゼンテーション
（3）研究演習（4年）：成果物の作成
3年次から取り組んできた研究・考察をさらに発展させ、まとめた内容を成果物（レポートや報告書など）および発表資料として完成させる。これまでの学びの集大成として、卒業論文に挑戦することができる。プレゼンテーションスキルを磨き、多角的な視点からフィードバックを受ける。
実施すること
・ 関連文献やデータの収集
・ 論理的な文章表現による成果物の作成
・ 最終発表会でのプレゼンテーション

主な卒業論文のタイトル

・ 卒論のテーマとして、医療経済、または医療にかかわる問題とします。

【過去の卒業論文のタイトル（一部）】
精神疾患及び年金について
がんの仕組みとその脅威
薬物と依存症
女性医師の帰職の問題
夫婦ケンカゲーム
フィットネスジムに行こうよ-社会全体の健康水準向上のために-
近年の日本の自殺の現状と自殺への考え方
経済的調査と考察-たばこ、医師誘発需要、値引きとポイント-
依存症
依存症と薬物の過剰摂取
下肢障害者とバリアフリーの価値
がん治療後の問題とがんになる要因について

教員からの要望

ゼミの主役は「学生」自身です。好奇心を持ち、疑問を大切にしながら、自ら考える姿勢を心がけてください。また、無断での遅刻・欠席は認められません。出席することがゼミ活動の第一歩です。

選考方法

演習申込書、成績、および面接により選考します。

評価方法

評価はゼミでの活動状況に基づいて行います。具体的には、ゼミへの参加（発言・発表）と、提出物（レジュメ・レポート・卒業論文・成果物など）が評価の対象となります。

到達目標・成果物

【研究演習の到達目標】医療の現状とメカニズムを把握する
・「なぜ医療費は増え続けるのか」「なぜ医師の偏在が起きるのか」といった現状を学ぶ。
・ 経済学の視点を用いて、政府・医療機関・保険者・患者という立場の異なる主体間の利害関係を整理し、問題の構造を深く理解する。
・ 理解したことや疑問に思ったことを他者に伝える。
【研究演習の成果物】
・ 到達目標達成度評価の対象は、発表用のレジュメとその発表とする。
・ 発表用のレジュメの準備と発表は、全員が行う。作成したレジュメは、所定の時刻までにレジュメのファイルをキャンパスクロスまたはメールにて提出する。
【研究演習・研究演習・卒業研究の到達目標および成果物は以下のとおりです。】
【研究演習の到達目標】論理的な解決策を導き出し、伝える

教員英字氏名	研究室
Nakashima, Takako	3403研究室

最終学歴

筑波大学大学院社会学研究科(計量計画学専攻)単位取得退学

学位

修士(社会経済)

主な研究活動・社会活動・研究業績

中島孝子(2024)、九州4県(熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 37(1), 11-34。
中島孝子(2024)、九州4県(福岡、佐賀、長崎、大分)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 36(2), 17-70。
中島孝子(2022)、四国4県(徳島、香川、愛媛、高知)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 35(1), 35-56。
中島孝子(2021)、中国5県(鳥取、島根、岡山、広島、山口)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 34(1), 49-73。
Ando, H., Shen, J., Morishige, K. I., Suto, S., Nakashima, T., Furui, T., Kawasaki Y., Watanabe H., Saijo, T. (2021) Association between postpartum depression and social support satisfaction levels at four months after childbirth. Archives of psychiatric nursing, 35(4), 341-346.
中島孝子(2020)、関西3府県(大阪、奈良、和歌山)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 33(1), 47-71。
中島孝子(2020)、関西3府県(滋賀、京都、兵庫)における周産期医療提供体制。流通科学大学論集-人間・社会・自然編, 32(2), 101-124。
Shen J, Nakashima T, Karasawa I, Furui T, Morishige K, Saijo T. Examining Japanese women's preferences for a new style of postnatal care facility and its attributes. Int J Health Plann Mgmt.2018;1-12.

趣味・特技

読書

所属

経済学部経済学科

所属学会

日本経済学会

専門分野

医療経済学

担当科目

教養特講（経済学科へのいざない）、教養特講（社会保障を考える）、経済学入門、医療経済論、産業経済論、経済特別演習、経済特別演習、公務員特別演習、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験なし